

言語文化研究科(言語社会専攻)【言語文化学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)】

プログラム名	和文	言語文化学(マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)
	英文	Language and Culture (Multilingual Expert Program)
開設研究科	言語文化研究科(言語社会専攻)	
募集対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正規学生	
修了要件	14単位以上	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、各専攻語学および専攻語圏の文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い語学能力を涵養するとともに、当該言語文化圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①専攻語の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)に関して、国際的な場面で通用する高い運用能力を有する。 ②専攻語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、専攻語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身につけるべき能力)を達成するために、本プログラムでは言語文化研究科(言語社会専攻)が開講する以下の5つの科目群を配置し、各専攻語学および専攻語圏の文化学について系統的な履修を促す。 ・専攻科目(広域言語論・地域言語論) ・地域言語社会特論科目 ・複合領域特論科目 ・専攻言語科目 ・関連研究言語科目	
履修資格・条件	【募集対象】募集定員は若干名 1. ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学(グローバル・アジア・スタディーズ)」もしくは「人文学(グローバル・ユーロ・スタディーズ)」を修了し平成30年4月に文学研究科の修士課程もしくは博士前期課程に入学する者 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人間科学(共生の生態)」を修了、平成30年4月に人間科学研究科の博士前期課程に入学する者 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」を修了し平成30年4月に、法学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 ●マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「経済学・経営学」を修了、平成30年4月に、経済学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月に、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科および国際公共政策研究科の修士課程もしくは博士前期課程に入学する者で特に希望するもの 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。	
前提知識の目安	本プログラムを構成する専攻言語科目の履修にあたっては、当該専攻言語の学部レベルでの運用能力を有することを前提とする。例えば「英語特別演習A・B」および「英語特別演習C・D」については、マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「英語・英米文化学プログラム」修了のために必要とされる外部検定試験の基準スコア程度の英語運用能力が履修の際に求められる。	
特記事項	本プログラムの構成科目のうち専攻言語科目については、優先的に履修することを推奨する。なお、上記「履修資格・条件」の2.に該当する者については、履修を希望する専攻言語科目に関する運用能力が一定の水準に達していることを証明する書類(各種検定試験のスコアの写し等)を所定の期限までに提出すること。	
履修申請	履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	言語文化研究科・外国語学部箕面事務室 MLE担当 TEL: 072-730-5062 FAX: 072-730-5057 Email: .multilingual@lang.osaka-u.ac.jp	